JAみなみ魚沼営農情報誌
あぜみち
No.7
令和７年９月１日
南魚沼市・湯沢町
NOSAI新潟・JAみなみ魚沼

８月２１日に新潟地方気象台から発表された１か月予報（８月２３日～９月２２日）では、向こう１か月の気温は高く、降水量は平年並み、日照時間は多い見込みです。

今年はお盆以降も高温で推移しているため、収穫が早くなることが予想されます。早めの刈り取り準備を行い、気象予報を参考にしながら、刈り遅れとならないよう作業の計画を立てましょう。

稲作技術情報

『適期収穫による品質確保！』

～刈り遅れによる品質低下を防ぎましょう～

１．出穂期別収穫期の予想

出穂後も高温傾向のため、収穫期が早まる予想となっています。

今後の情報を参考にしながら、例年より早く収穫を開始するよう心掛けましょう。

表1 出穂後の積算温度による刈り取り適期目安

品種	平年	高温年
【早 生】 こしいぶき、五百万石等	975℃	925℃
【中 生】 コシヒカリ、こがねもち等	1,000℃	950℃
【晩 生】 新之助、あきだわら等	1,050～1,100℃	1,000～1,050℃

表2 出穂期別収穫期の予想　（南魚沼農業指導普及センターより（8/20時点））

	標高	出穂期	収穫適期目安 950℃	収穫終了目安 1,100℃
コシヒカリ	平地 （１８３m）	８月 １ 日	９月 ６ 日	９月１２日
		８月 ４ 日	９月１０日	９月１６日
		８月 ７ 日	９月１３日	９月１９日
		８月１０日	９月１６日	９月２２日
	高地 （３４０m）	８月１２日	９月１８日	９月２５日
		８月１５日	９月２１日	９月２９日

※積算温度を目安に、必ず黄化率を確認して刈り取り判断をしましょう。

○アグリルックを活用した積算温度による収穫期予測

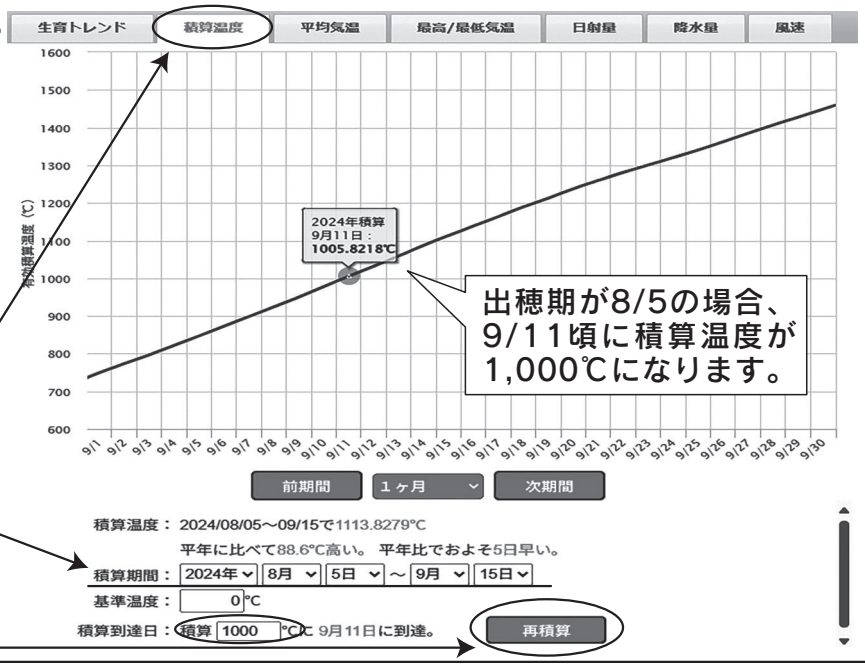
https://www.agrilook-info.jp/minamiuonuma/

スマートフォン
タブレット版

ユーザーID：user
パスワード：user

1.アグリルックにログイン
→ ご自身の圃場を選択後
【生育トレンド】を表示

2.【積算温度】を選択し、
積算期間に出穂期と成熟期
（収穫予想日）、積算到達日
に1,000℃を入力後
【再積算】を行う。



２．穂の黄化率（穂の外観）を確認し適期収穫！

収穫適期の10～7日前で、穂の黄化率が50～70%となります。

≪収穫適期≫
- **85～90%が黄化**
- **穂の基軸部分に若干緑色が残っている頃**

「積算温度」を目安に「籾の黄化率」を確認して収穫判断をお願いします!

黄化率７０％　黄化率８０％　黄化率９０％

※黒塗の籾：黄化していない籾

高品質確保!

刈り遅れは胴割粒の発生を助長し、品質・食味に大きく影響を与えます。
適期収穫と適切な乾燥・調製に努めましょう。

～ 積算温度表については、９月下旬まで営農部LINEで配信予定です ～

３．高温年はより慎重な乾燥作業を心掛けましょう！

！胴割米の主な原因は、水分が高い生籾の急激な乾燥や過乾燥です！

適期収穫と併せて、生籾の状態に合わせた乾燥方法で胴割米の発生を防ぎましょう。

●籾水分のバラツキが大きい時は、熱風温度を1～2ランク下げ、２段乾燥を行いましょう。

●籾水分が高い時は、バーナーを点火せずに、2～3時間通風乾燥を行い、通常の状態になったら、熱風乾燥を行いましょう。

●異なる圃場の生籾を、１度に乾燥する場合は同じ収穫日でも籾水分のバラツキがあるため２段乾燥を行いましょう。

●もち米の場合は、２段乾燥を行い、低温でゆっくり仕上げ、過乾燥に注意しましょう。

※２段乾燥…平均水分値18%前後で一旦乾燥を休止し、休止中に籾水分のバラツキを補正し再乾燥すること。

稲刈り後は近隣道路への配慮をお願いします。

農業機械の走行による道路の泥が散見されるため、圃場から出た際には泥を払う、機械から落ちた泥を清掃するなど近隣への配慮をお願いいたします。

刈り取り作業終了後は
『良好な生育確保に繋ぐ土づくり』
～継続した土づくりで次年度に備えましょう～

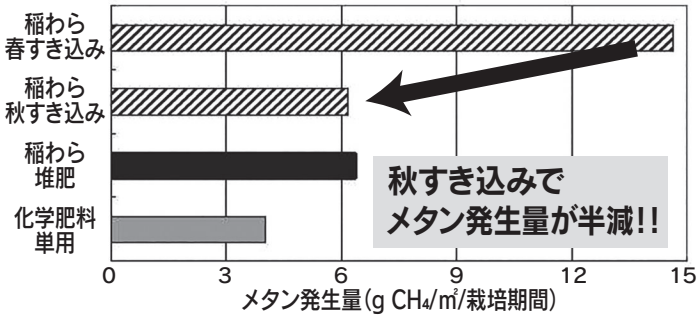
今年は春の低温・低日照により、初期分げつの発生が少なく、茎数の確保が遅れる圃場が散見されました。近年は異常気象が常態化しており、年ごとの環境の変化が大きくなっています。その中で安定した品質・収量を確保するために基本技術である「土づくり」を継続して行いましょう。

「秋すき込み」 をすると

- 分げつ期の根腐れの原因となるワキ（硫化水素）発生の軽減
- 温室効果ガスであるメタンの発生軽減
- 春すき込みに比べて初期生育が期待できる

収量の確保につながる！

表3【水田からのメタン発生量に対する稲わら処理の影響】
（H5年新潟農試）



「秋すき込み」作業ポイント！

- 収穫後できるだけ早くすき込む！　→　稲わらをしっかり腐熟（分解）させる
- 作業は地温が確保できる10月中旬までが効果的！
- すき込みの作土深は5cmの浅打ち、速度は足早で稲わらと土壌を混和！

遅い時期に作業となる場合は「稲わら分解促進資材」の活用もご検討ください。ワキの発生が多かった圃場では地温の高い時期の活用により、効果が高まります。

表４　稲わら分解促進資材

資材名	容量	使用量
ワラ分解キング	１０kg	１０kg/10a
アグリ革命	２kg	２kg/10a

詳しくはご相談ください

○有機物とケイ酸、鉄成分を併用した土づくり

堆肥や稲わらの連年施用は、地力の向上によって栽培後期の窒素発現量が増加し、稲体活力の維持と登熟向上に寄与するため、異常高温年による収量や品質の低下が小さくなる効果が期待できます。

表５ 稲わら分解促進資材

種類	肥料効果	物理性改善効果	特徴
牛ふん	小	大	肥料成分は控えめで有機物を豊富に含む。緩効性。
豚ぷん	▲	▼	牛ふんと鶏ふんの中間の効果。
鶏ふん	大	小	肥料効果は即効的で化学肥料に近い。

今年も「土づくりキャンペーン」実施！
～詳しくは最終ページをご確認ください～

園芸技術情報

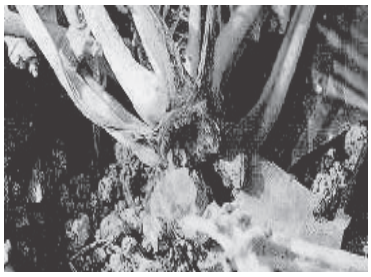
～収穫に向けて！秋冬野菜の病害虫防除～

秋冬野菜は被害が見える前に、病害虫防除を行うことがとても重要です。下記の被害が発生しないように防除を行い、見た目が良く、充実した秋冬野菜を作りましょう。水和剤・顆粒水溶剤・水溶剤を使用する際は展着剤も使用し、薬剤効果を高めましょう！

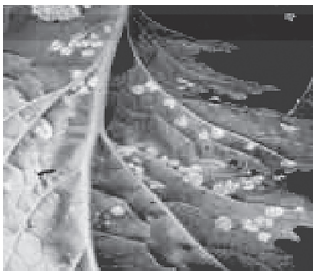
★ダイコン防除例

①主要病害被害

軟腐病



白さび病



病害名	薬剤名		使用時期	使用倍率	使用回数
軟腐病	予防＋治療	スターナ水和剤	収穫14日前まで	1,000倍	５回以内
		バリダシン液剤５	収穫７日前まで	500倍	４回以内
白さび病・ワッカ症		アミスター 20フロアブル	収穫14日前まで	2,000倍	３回以内
軟腐病・白さび病・黒斑細菌病	予防	ヨネポン水和剤	収穫７日前まで	500倍	４回以内

②主要害虫被害

キスジノミハムシ

アブラムシ

ハスモンヨトウ

害虫名	薬剤名	使用時期	使用倍率・量	使用回数
ネキリムシ類･タネバエ･コガネムシ類幼虫･ケラ キスジノミハムシ	ダイアジノン粒剤5	播種時	40～60g／10㎡	1回
アオムシ・コナガ・ハスモンヨトウ・アブラムシ類	エルサン粉剤２	収穫30日前まで	30g／10㎡	2回以内
キスジノミハムシ	スタークル顆粒水溶剤	収穫7日前まで	1,000倍	2回以内
アブラムシ類・ダイコンハムシ			2,000倍	
アブラムシ類・ダイコンハムシ	ダントツ水溶剤	収穫7日前まで	2,000～4,000倍	2回以内
ハイマダラノメイガ（シンクイムシ）	アファーム乳剤	収穫7日前まで	2,000倍	3回以内

※上記農薬は「キャベツ」・「ハクサイ」にも使用可能ですが、
使用倍率・量、使用時期、使用回数等異なりますので、登録内容を確認してからご使用ください。

★ネギ防除例

①主要病害被害

黒斑病

べと病

さび病

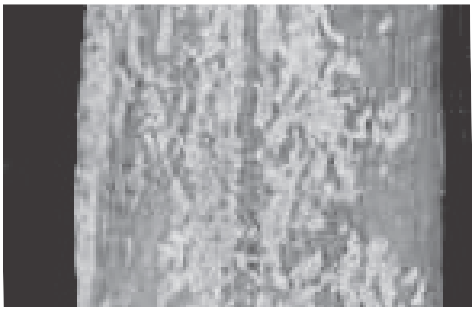
軟腐病

病害名	薬剤名		使用時期	使用倍率・量	使用回数
軟腐病	予防	オリゼメート粒剤	土寄せ時但し、収穫30日前まで	60g／10㎡	２回以内
	予防＋治療	カスミンボルドー	収穫14日前まで	1,000倍	２回以内
		バリダシン液剤５	収穫前日まで	500倍	２回以内
		スターナ水和剤	収穫７日前まで	2,000倍	３回以内
黒斑病・べと病・さび病	予防	ダコニール1000	収穫14日前まで	1,000倍	３回以内
		ヨネポン水和剤	収穫７日前まで	500倍	４回以内
黒斑病・べと病・さび病・葉枯病	予防＋治療	アミスター20フロアブル	収穫３日前まで	2,000倍	４回以内

②主要害虫被害

ネギハモグリバエ

アザミウマ類



害虫名	薬剤名	使用時期	使用倍率・量	使用回数
ネギハモグリバエ・ネギアザミウマ	ダントツ粒剤	収穫3日前まで	30 ～ 60g/10㎡	４回以内 ※粒剤・水溶剤合わせて
	ダントツ水溶剤		2,000 ～ 4,000倍	
	ベストガード粒剤	収穫前日まで	60g/10㎡	３回以内 ※粒剤・水溶剤合わせて
	ベストガード水溶剤		1,000 ～ 2,000倍	

※病害写真は、農文協「ルーラル電子図書」より引用。

・農薬を使用する際は、登録作物名・使用方法・使用回数・倍率等を確認し正しく使用しましょう。
・掲載している資材について、ＪＡ資材店舗在庫切れの場合は取り寄せとなります。ご了承ください。

～ ＪＡからのお知らせ ～

資材課からのお知らせ

秋の土づくりキャンペーンのご案内

令和７年９月１５日～１０月３１日の期間中、下記の商品を予約価格にて販売いたします。
ご予約されていない方もこの機会にぜひご購入ください。
なお、商品の代金決済は通常決済のみとなります。

商品名	特徴	10a当たり施用目安
スーパーシリカプレミアム	吸収･施肥効率が高い、高溶出ケイ酸を含有しています。	40～100kg
越後の輝き ソイル米スター	軽量（１５kg）で取り扱いやすく、効率的に吸収するケイ酸を含みます。	30～45kg
アイアン米スター	ケイ酸と鉄を高成分に含んだバランスの良い肥料です。	60～100kg

「土づくり」で期待される効果

根の充実による稲体活力の維持 → 収量や品質の安定

【ケイ酸】 耐倒伏性･受光態勢の向上、病害虫被害の軽減、登熟向上

【 鉄 】 根の保護作用による根腐れ･秋落ちの軽減

※ご不明な点がございましたら、各アグリセンターまでお問い合わせください。
●アグリセンター大和　TEL777-2431　●アグリセンター六日町 TEL773-6121
●アグリセンターしおざわTEL775-7488　●アグリセンター湯沢　TEL785-5313

○新潟県農林水産部よりお知らせ○

稲わら等の活用を進めましょう!稲わらや籾がらは貴重な有機資源です!

稲わらや籾がらは焼却せずに、環境にも人にもやさしい「新潟米」づくりを実践しましょう。新潟県では、2050年カーボンゼロの実現に向け、農業分野での温室効果ガス削減の取組みを進めています。

南魚沼地域振興局　農林振興部　普及課　TEL 025-772-3337

収穫めやすとなる
積算温度情報等をタイムリーに受け取れる!!

LINE登録者募集

積算温度の情報などを随時発信していきますので
是非ご活用ください。
右のQRより登録をお待ちしております。

JAみなみ魚沼 営農部LINE QR

ご不明な点がございましたら、JA みなみ魚沼営農指導課までお問い合わせください。
◎アグリセンター大和　TEL777-3786　◎アグリセンター六日町　TEL773-6121
◎しおざわ基幹センター　TEL782-1171